

3～4歳で自分から積極的に大人にお話する～お友達とトラブルなくコミュニケーションの十分なレベルにある6人の回答

質問の選択項目(複数回答)	回答数
生まれたての赤ちゃんの頃から、「よしよし」「大丈夫」「いいこだね」「お腹すいたね」などお声掛けしていた。	6
赤ちゃんが泣くと、割とすぐに抱き上げて話しかけてあやす方だった。	6
赤ちゃんが泣いた時に手が離せない時には、「ちょっと待ってて!」「すぐ行くからね」などお声掛けするようにしていた。	6
6ヶ月から1才くらいの時期には、抱っこして赤ちゃん向けの絵本を一緒に見て話しかけたり読んで聞かせたりしていた。	6
子どもが好きなものや楽しいと思うことに興味・関心を持っていて、自分も共感して一緒に遊べたらと思っている。	6
夫婦の間で、今日あった出来事として、子どもの話をよくする。	6
おじいちゃんおばあちゃんや先輩や友達など子どもとの関係がうまくいかない時助けてくれ相談に乗ってくれる親しい人が身近にいる。	6
保育園や幼稚園、かかりつけの医師など、子どものことでの専門家との信頼関係があり、いろいろと相談に乗ってもらえている。	6
子どもの話題以外にも、仕事のことや趣味のこと、社会のことなど幅広く夫婦で会話が弾む方だ。	6
子どもが生まれてから大変なことは多々ありながら、心から家族を愛していると実感することが多い。	6
生まれたての赤ちゃんの頃から、毎日子守歌や即興の歌をうたいながら抱っこしたり頬ずりしたりしてあやしていた。	5
数か月の赤ちゃんの時に、抱っこして優しくゆすったり、優しい声で話しかけたり歌ったり、ぐずる赤ちゃんをあやすことができた。	5
5,6か月くらいの時に、抱っこして「ほらワンワン」「ブーブーが通ったね」「お花が咲いてるよ」などお話し掛けしながら散歩した。	5
よちよち歩きの時について回って、その子が指さしたり近寄ったりする先々のもののお名前を話しかけたり、「危ないよ」「ないないね」「こっち行こうね」「そうそう上手ね」などお声掛けしたりしていた。	5
事前にいろいろとお話してお約束をしてから、でかけたりするようにしている。	5
忙しくて、ちゃんと相手になれない時はあっても、子どもと過ごす時間心からくつろいで楽しいと思うことができる。	5
最近面白かったことや、楽しかったことなど、自分から子どもにあれこれ質問して会話することができている。	5
自分の子どもの頃の話や家族の話を子どもにいろいろ話している。	5
夫婦の間で、子どもの育て方や、子どもの将来について真剣に話し合うことができる。	5
義理の関係ではいろいろあっても、パパ自身、ママ自身と実の両親との関係は安定している。	5
6ヶ月以降、旅行の時やおでかけの時に絵本を持ち歩いて、出先で一緒に読んだりお話ししたりしていた。	4
子どもから質問されることには、なるべく適当に生返事したりせず、多少難しい話になってもいいから真面目に答えようと努めている。	4
家族の間でも、なるべく丁寧な言葉づかいを日頃から心がけている。	4
「イヤイヤ」して駄々をこねる時には、なるべく根気よく優しく言い聞かせるように努めている。	3
一方の親が叱ったら、もう片方の親は、どうして叱られたか優しく言って聞かせて、叱った親に「ごめんなさい」するように促す。	3
子どもが大きくなったら、一緒に趣味・遊びを共有できたらなと思って、今からあれこれ自分自身が楽しいと思うこと、面白いと思うことについて話をするようにしている。	3
子どもと一緒にごっこ遊びをする時に、いろいろなシチュエーションを想定してあれこれ質問して自分自身がリードして楽しめる。	3
大人同士でも子どもに対しても、感情的な喧嘩・激高ではなく静かに厳しい話を議論することができるようにと日頃から気を付けている。	3